

一般財団法人全国大学実務教育協会
第3回「大学実務家教員養成講座」
ご案内

開催趣旨

◇大学実務家教員の増加と研修の必要性

近年、専門職大学院における教員配置に代表されるように、産業界や官界その他団体などの特定分野で高い実績を残してきた専門家を大学に迎え入れる「実務家教員」が増えています。また、専門職大学や専門職短期大学が次々に誕生していることが、従来の大学・短期大学が担ってきた実践的教育に刺激を与え、大学教育における実学が今まで以上に活性化する状況にあります。このことから、将来にわたっても大学実務家教員が増え続けると予想されます。

ところがわが国において、大学等の教育における教授能力を備え、教育研究の知見を有する実務家教員が十分に育成されていないと言われています。本協会が行った実務家教員に関するアンケートにおいても、実務家教員は実務の経験が豊富であるが、教育経験が不足しているとの指摘がありました。また、実務家教員に対するヒアリングでは、研究者教員と比較すると論文数も少なく、今の大学の評価システムでは業績を評価されない危険性があると危惧する教員もいました。もともと大学教員には、小中高のように教員免許や教員養成プログラムなどはなく、多くは専門の研究業績によって採用されています。こうした背景から、これまでの大学には実務家教員に対する指導支援体制が不十分で、指導者も存在しませんでした。

そこで、本協会では、大学実務家教員研修の必要性を捉え、これまで長年にわたり大学教員を対象として実践的な学びの機会を提供してきた経験とノウハウを活かして、大学実務家教員のための大学教育準備のためのプログラム講座を引き続き開催いたします。

講座のねらいと特色

- ・本講座は、大学教育に携わる教育者としての役割を認識し、大学教育の充実をはかる「教員力」「授業力」の基礎を身につけるとともに、実務経験を活かして推進する「教学マネジメント力」や「研究力」を兼備した未来志向型の大学人の育成をめざしています。
- ・大学に関する基本的知識を理解したうえで、教員力の基礎となる授業実践のノウハウや実務経験を活かした研究の進め方が学べます。
- ・本プログラムは、能動的学修（アクティブラーニング）における学びの技法や授業デザインの事例を紹介するとともに、実際に活用する実践の場も提供します。
- ・参加者同士の経験談や実践事例を交換する場を設けますので、大学教育について少し経験のある方や全くの初心者の方でも新たな発見があり、自信をつける場にもなります。
- ・長年、大学等で教育研究活動を行っている講師陣（理事長、学長経験者等）をそろえています。

受講対象者

- ◇実務家教員を希望している方
- ◇大学に在籍（または予定）の方
- ◇企業等に在籍している方

開催要項

1. 日 時

<A領域> 2021年11月6日(土)～11月7日(日)2日間(10:00～17:30)

<B領域> 2021年12月4日(土)～12月5日(日)2日間(10:00～17:30)

2. 会 場

<A領域>・<B領域>共に「アルカディア市ヶ谷」(私学会館)

東京都千代田区九段北4-2-25 (TEL 03-3261-9921)

JR・地下鉄「市ヶ谷駅」徒歩2分

3. 講 師

清水 一彦 (山梨県立大学 理事長・学長)

佐々木雄太 (前名古屋経済大学 学長)

林 忠行 (京都女子大学 教授)

川嶋太津夫 (大阪大学 高等教育・入試研究開発センター長)

小川 勤 (静岡福祉大学 特任教授) 他

4. 定 員

20名(先着順)

5. 参加費

・A B講座(4日間) 20万円

・A講座 (2日間) 10万円 (消費税込み)

・B講座 (2日間) 10万円 ※お一人、昼食、テキスト代等を含む

6. 修了証

講座受講者には修了認定証を交付します。

7. 参加申込・締め切り

・お申込みにつきましては、別紙の **参加申込要項** をご覧ください。

・ 締め切り 2021年8月31日(火)